



4月20日

聖アグネス・デ・モンテプルシアノ おとめ・隠世修道女（イタリア）記念

聖アグネスは1268年頃生まれ、9歳のいたいけな?年で修道生活の道を抱きしめた。知恵と知性の成熟が早く、そのため間もなく修道院内で責任ある立場に置かれ、15歳で院長となり、後に髪の啓示によってモンテプルシアノにドミニコ会陰性修道院を創立し、初代院長となった。

所得に非常に抜きん出て花婿キリストの手は多くの神の賜物で彼女を装ったのである。1347年49歳で永眠、腐敗を免れた遺体は、人々に崇敬されている。シエナの聖カタリナはヴィジョンでアグネスと共に天国で同じ栄光に与るであろうと知らされたという。

1726年、ドミニコ会土教皇ベネディクト13世は聖なる姉妹を列聖した。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から